



ASTON MARTIN

2016.12.1

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

PressRelease

アストンマーティン、新しいチーフ・テクニカル・オフィサーを任命



アストンマーティンは、新しい副社長兼チーフ・テクニカル・オフィサーに、マクシミリアン・シュヴァイを任命しました。

マクシミリアン・シュヴァイは、アストンマーティン本社のゲイドン(英国ウォリックシャー州)において、社長兼最高経営責任者(CEO)の Dr. アンディ・パーマーの直属として、アストンマーティンの世界的なエンジニアリング業務を統括することになります。

この新しい人事に関して、アンディ・パーマーは次のように述べています。

「マクシミリアンを、アストンマーティンのチームに迎え入れることができ嬉しく思います。彼は、エンジニアリングおよびプロダクト・デリバリーの分野における豊富な経験を持っています。新世代のアストンマーティン製品を事業展開するにあたり、彼は、その経験、スキル、



ASTON MARTIN

そして情熱により、我々のエンジニアリング・チームの素晴らしいリーダーになると確信しています。」

今回の任命を受けて、マクシミリアン・シュヴァイは次のようにコメントしています。

「この素晴らしいタイミングで、アストンマーティンの一員になることができ大変光栄です。アストンマーティンは現在、歴史的に重要な時期を迎えており、未来に向けてアストンマーティンを再形成するための一連のニューモデルや新しいテクノロジーの開発において、職務を果たしてゆきたいと思っています。」

マクシミリアン・シュヴァイは、これまでマセラティおよびフェラーリのイノベーション&ボディ・エンジニアリング責任者の要職にありました。マセラティおよびフェラーリに移籍する前は、BMW、ポルシェの管理職として、25年以上にわたって自動車業界に貢献してきました。